

実績報告書

届出者	住所	東京都港区港南五丁目3番27号	氏名	ヤマトクローバルエクスプレス株式会社 代表取締役社長 永田 輝巳
特定事業者の主たる業種		44道路貨物運送業		
該当する特定事業者の要件			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		大阪府下8営業所において、主に第二種貨物利用運送事業及び一般貨物自動車運送事業を展開。		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間
2017 年 4 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(2016)年度	前年度(2019)年度
温室効果ガス総排出量	1,198 t-CO ₂	1,177 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	1,269 t-CO ₂	1,268 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO ₂

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019 年度)	第1年度 (2017 年度)	第2年度 (2018 年度)	第3年度 (2019 年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース) 2.0 %	6.3 %	0.2 %	1.8 %
		削減率(原単位ベース) %	%	%	%
削減率(平準化補正ベース)		2.0 %	5.5 %	-2.0 %	0.1 %
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	()
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

排ガス規制対応及び高燃費車両への代替えを行っております。事故防止とともにエコドライブを推進し環境に配慮した優しい運転を実施する。
--

(2) 推進体制

従来から全社で継続の、省エネルギーに対する社員の理解を一層推し進める。
